

第21回北信越チアリーディング選手権大会に向けて

来たる6月14日、いしかわ総合スポーツセンターにて「第21回北信越チアリーディング選手権大会」が開催されます。北信越地区から約30チームがエントリーし、自由演技競技、チアリーディングスピリッツ演技競技、エキシビション出場に出場する選手たちが、日頃の練習の成果を発揮します。

大会を目前に控え、出場チームの練習の様子や意気込みをお届けします。

高等学校の部には、昨年度優勝校である小松大谷高校（石川県）、昨年度全日本高等学校選手権大会で決勝進出を果たした東海大学付属諏訪高校（長野県）をはじめ、石川県立金沢商業高校、富山第一高校（富山県）、高岡第一高校（富山県）の5校がエントリーし、JAPAN CUP 進出を懸けて競い合います。

本番を約1か月後に控えた5月上旬には、大学チーム等も含む6チームが参加した合同練習会が石川県内で開催されました。地区予選突破という共通の目標に向けて練習に熱が入る一方、互いの演技に真剣にアドバイスを送り合う姿も見られ、ライバルでありながらも切磋琢磨する選手たちの姿は、まさにチアリーディングスピリッツそのものでした。北信越地区の高校生たちの力強いエネルギーを感じる場となりました。

限られた JAPAN CUP 出場枠を手にするのはどのチームなのか、高等学校の部から目が離せません。

大学の部では、金沢大学（石川県）が唯一エントリーしています。同大学は昨年に引き続き、日本チアリーディング協会認定指導者資格の合格者を輩出するなど精力的に活動しており、今大会でも大学生らしいパワフルな演技を届けるべく日々練習に励んでいます。合同練習会にも参加し、高校生チームとともに大会を盛り上げる活躍が期待されます



5月上旬 高校・大学合同練習会

昨年度総合優勝を果たしたチアリーディングチーム PUPPYS（富山県）は、小学校低学年、小学校高学年、中学校、マスターズの各部門へエントリーしており、今年も優勝候補の筆頭として注目されています。5月上旬には地元・富山県内で合宿を実施し、確実に技術を磨くとともに、生活面や行動面においても一人ひとりのチアリーディングスピリットを高めることを重視し、観客の皆さんに元気・勇気・笑顔、そして生きる活力を届けることを目指して今大会に向けた努力を重ねています。

PUPPYS は、昨年度の JAPAN CUP における小学校低学年部門優勝をはじめ、出場した各大会・各部門で入賞やベストマナー賞、チアリーディング推進議員連盟賞を受賞するなど、幅広い年代の選手たちが笑顔あふれる元気な演技を披露してきました。

北信越大会を牽引する存在として、今年もその活躍に大きな期待が寄せられています。



チアリーディングチーム PUPPYS（富山県）

エキシビション ジュニアスターには16チームがエントリーしています。昨年度は、多くのチームが地方大会だけでなく全国大会にも挑戦し、エキシビション各賞を受賞するチームも増えるなど、ジュニア世代の活躍が一段と広がりました。

昨年度 PUPPYS と合同チームを組み、総合優勝を果たしたキッズチア富山 TINKS（富山県）は、JAPAN CUP 中学校部門3位入賞、ベストマナー賞受賞、世界大会優秀賞、子ども大会金賞受賞など数々の実績を残しています。鍛え上げられた技術力と、チアリーディングスピリット溢れる演技で、今大会でも大きな活躍が期待されます。

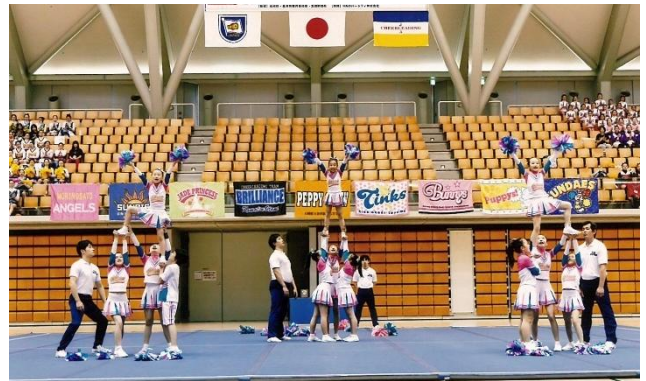
また、子ども大阪大会で金賞を受賞した小松市チアリーディングチーム（石川県）は計4チームがエントリー。子ども大会でクリエイティブ賞を受賞した糸魚川チアリーディングクラブ（新潟県）は3チームがエントリーしており、両チームとも今大会での活躍が大いに期待されます。



キッズチア富山 TINKS (富山県)



小松市チアリーディングチーム (石川県)



糸魚川チアリーディングクラブ (新潟県)

昨年、20周年の節目を迎えた北信越大会。はたして今年は、どのチームが新たな歴史を刻むのでしょうか。

出場するすべてのチームが、それぞれの目標に向かって全力で練習に取り組んできました。選手一人ひとりが悔いのない演技が披露できるよう、その健闘を心より祈ります。

本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.